

し、その導入効果を大幅に高める栽培体系への抜本的な転換等を行っている先
行事例を効果的に横展開するための取組を支援しています。

このたび、下記により、スマート技術体系の横展開を図る産地等の公募（第一
次公募）を行っておりますので、お知らせいたします。

1 支援内容

スマート農業技術を活用し、その導入効果を大幅に高める栽培体系への抜
本的な転換等を行っている先行事例を効果的に横展開するための産地の取
り組みを支援します。

2 支援対象となる取り組み

- ア. 展示圃場の設置
- イ. 講習会・研修会の開催
- ウ. その他ア、イに関連する必要な推進活動

3 応募団体の要件

都道府県・市町村・国研・独法・JA・JA連合会・農業者・民間企業・
任意団体等

4 応募方法

公募要領をご確認の上、指定の応募申請書により5月15日までに（一社）
全国農業改良普及支援協会宛電子メールでお申し込みください。

詳細は、（一社）全国農業改良普及支援協会ホームページをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、スマート農業技術の導入・定着に意欲的
に取り組んでいる農業者・産地等、日ごろ皆様において把握されている有望な取
組主体に対し、本事業の情報提供を行い、応募の検討を促していただけますと幸
いです！

▼詳細はこちら

（一社）全国農業改良普及支援協会ホームページ（外部リンク）

<https://www.jadea.org/news/20260414/>

※お問い合わせ先

（一社）全国農業改良普及支援協会（担当：佐野）（03-5817-4992）

=====

◆スマート農業技術の導入等を支援する「スマ転事業」の要望調査を実施中
です！

=====

農林水産省では、令和7年度補正予算及び令和8年度当初予算において、労働
生産性の高い農業構造への転換に向けて、スマート農業技術の現場導入とその
効果を高める栽培体系への転換の取組を支援する、「スマ転事業（正式名称：ス
マート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業）」を実施しております。

スマ転事業では、スマート農業技術の導入とその効果を高める栽培体系への転換を一体的に実施する取組に必要な機械導入費等を支援します。

令和8年4月20日（月）より、広域型は公募を、地域型は都道府県を通じて要望調査を開始しましたので、普及指導員の皆様におかれましては、スマート農業技術の導入にご関心のある農業者の方に周知をお願いいたします。

▼詳細はこちら

スマート技術体系への転換（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/sumaten.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課

（担当：宮永、永田、土屋）（03-6744-2107）

◆熱中症等対策研修に参加しよう！

気象庁発表の3か月予報によると、4月～6月は全国的に平年より高い気温になると予想されています。

令和6年の農作業事故死亡者は前年の51人増であり、熱中症は22人増で全体の20.6%を占めるなど農作業中の熱中症の発生リスクが一段と高まっています。

そこで、より多くの農業者に早い段階から熱中症への注意を促すため、熱中症等対策研修強化期間を1か月前倒しの4月～6月に実施中です。

農林水産省WEBサイトでは、熱中症の危険性や予防のポイント等を紹介する研修動画「農作業中の熱中症を防ぐ」のほか、熱中症等対策研修にてご活用いただける研修資料を公開しています。

普及指導員の皆様におかれましても、本動画や農林水産省WEBサイトに掲載している啓発資料等を活用いただき、農業者に対する熱中症対策の啓発や研修参加への声かけをお願いします。

▼動画URL

「農作業中の熱中症を防ぐ」（一般社団法人日本農業機械化協会作成）

<https://www.youtube.com/watch?v=xcCq00tNYfY>

▼研修資料

「農作業における熱中症等対策研修テキスト・熱中症対策声かけ期間」

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nechu.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課

（担当：藤田）（03-6744-2107）

++・…… 病虫害発生予報の発表について ……・++

◆「令和8年度 病虫害発生予報第1号」(令和8年4月15日(水)付け)を発表しました。

【消費・安全局植物防疫課】

農林水産省は、今後の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第1号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病虫害防除所等と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○今後発生量が多くなると予想される主要な病虫害及び地域

- ・ 麦では、赤かび病の発生が、東海、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜・花きでは、いちごのハダニ類の発生が、北陸、東海及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹カメムシ類の発生が、近畿及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、かんきつのハダニ類、きゅうりのべと病等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

○「令和8年度 病虫害発生予報第1号」の発表について(令和8年4月15日(水)付け農林水産省プレスリリース)はこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/260415.html>

※ 都道府県の発表する病虫害発生予察情報と併せてご利用ください。

○ 都道府県の病虫害発生予察情報などはこちらから
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課 国内防除第2班

(03-3502-3382)

++・…… 施策情報 ……・++

◆6月2日及び6月26日に令和8年度熱中症対策研修 熱中症及び作業環境対策コースをオンライン開催します!

【農林水産研修所つくば館】

この度、農作業中の熱中症の予防対策をテーマに、オンライン研修を実施します。いずれも定員100名、同じ内容を予定しています。

受講希望の方は、受講申請書に必要事項を記載の上、電子メール又は郵送により申し込みをお願いします。

普及指導員の皆様におかれましても、ご参加及び関係者への周知のほどよろしくをお願いします。

日時:

- ・熱中症及び作業環境対策コース1:令和8年6月2日(火)10:00~15:35
- ・熱中症及び作業環境対策コース2:令和8年6月26日(金)10:00~15:

申込期限：コース1は5月19日（火）〆切、コース2は6月12日（金）〆切

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/kensyu/08netu.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産研修所つくば館

(農業機械研修担当) (029-839-9481)

=====

◆ (畜産の暑熱対策) 暑さに備えましょう！！

【畜産局企画課】

=====

今年も暑い季節がやってきます！！

暑さによる生産性の低下を防ぐためには、事前の「備え」が重要です。

農林水産省では、暑熱対策に必要な資機材の導入等を支援しています。

支援も活用しながら、暑さが本格化する前から、早め早めの準備を進めましょう。

普及指導員の皆様におかれましては、暑熱対策の推進についてご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_tiku_manage/index.html#shonetu

※お問い合わせ先

農林水産省 畜産局 企画課 (担当：柳田) (03-3502-5981)

=====

◆ 農林漁業バイオ燃料法に基づく支援措置について

【大臣官房 環境バイオマス政策課 バイオG】

=====

農林水産省では、農林漁業バイオ燃料法に基づき、ソルガムといった資源作物や稲わらといった未利用バイオマス等を供給する農林漁業者とバイオ燃料製造業者が連携して行うバイオ燃料製造、およびバイオ燃料の原材料生産等の研究・開発を支援しています。例えば、農林漁業者等とバイオ燃料製造業者が連携し、バイオ燃料製造に取り組む「生産製造連携事業計画」の認定を受けた場合、固定資産税の課税標準額の減免や無利子の農業改良資金など、様々な支援措置を受けることが可能です。バイオ燃料の製造等をご検討の際には本認定制度の活用についてもぜひご検討ください。

また、普及指導員の皆様におかれましては、現場へのご案内をはじめ、本制度の周知に引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

▼詳細はこちら

○農林漁業バイオ燃料法関連情報

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/>

○農林漁業バイオ燃料法パンフレット

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/attach/pdf/index-52.pdf>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課

(担当：田島、宮崎、西村) (03-6738-6478)

◆担い手向けに機械導入等を支援！！

地域農業構造転換支援事業の要望調査実施中！！

【経営局経営政策課】

本事業は、地域の中核となって農地を引受ける担い手の経営改善に必要な農業用機械・施設の導入を支援するものです。現在、要望調査を実施していますので、事業の活用をお考えの方は市町村にご確認ください。

本事業の詳細はこちらをご参照ください。

(https://www.maff.go.jp/j/keiei/sien/R7_chiiki_nougyou/251223.html)

▼主な事業要件

- ・補助率：3/10 以内 補助上限額：個人 1,500 万円以内、法人 3,000 万円以内
 - ・対象者：地域計画に位置付けられた担い手
 - ・成果目標（次のいずれか1つを認定）1. 経営面積の3割又は4ha以上の拡大、2. 付加価値額1割以上の拡大、3. 労働生産性3%以上の向上
- 普及指導員の皆様におかれましては、担い手の経営改善に向けた本事業の推進についてご協力のほどよろしく申し上げます。

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 経営政策課 担い手・法人総合対策室

(03-3502-6444)

◆(みどり戦略技術紹介) 茶園用病害虫クリーナーによるチャ炭疽病対策及び異物除去作業の省力化

【大臣官房政策課技術政策室】

近年、緑茶の輸出が拡大しています。茶の輸出においては、相手国の基準を踏まえた栽培管理が求められており、有機栽培を含め、化学農薬の使用低減につながる技術が重要となっています。そこで、送風により樹冠内の病葉や異物を除去する「茶園用病害虫クリーナー」が開発されました。

本技術により、炭疽病の発病を低減でき、農薬使用量の低減に貢献します。また異物除去作業の大幅な省力化が可能です。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：茶) (PDF：2,650KB) p. 3
茶園用病害虫クリーナーによるチャ炭疽病対策及び異物除去作業の省力化

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/07_midori_catalog_5_tea.pdf#page=3

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術政策室

(担当：中野、小松崎) (03-3502-3162)

=====

◆「地球温暖化影響調査レポート」(速報)を公表しました！

【農産局農業環境対策課】

=====

今回は速報版として、気候変動の影響について報告が多い水稲、果樹、野菜などの農畜産物において効果のあった適応策をまとめました。

特に水稲は高温による影響への適応策として、主食用米に占める高温耐性品種の作付割合が増加しています。

気象庁の長期予報によると、気温は全国的に高い見込みと予想されています。農作業における熱中症対策についても掲載しておりますのでご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本レポートに示されている影響、適応策等を参考としつつ、今後とも、適応計画に基づく取組の推進にご協力をお願いいたします。

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/ondanka/attach/pdf/report-81.pdf>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 農業環境対策課

(担当：永尾) (03-3502-5956)

=====

◆「日本の気候変動2025を用いた気候変動解説の手引き」をご活用ください！

【気象庁大気海洋部気象リスク対策課】

=====

気象庁は2026年3月25日に「日本の気候変動2025を用いた気候変動解説の手引き」を公表しました。

